

# 全 仏

NO. 229

6 / 52



## 仏教英語研修

▼WFBの執行委員会が京王プラザホテルで開催された。会長のブーン殿下をはじめ七名の執行委員が来日されたが、やはり言葉の苦労は悩みの種であった。会議室へ案内するのも、エレベーターに乗るのもジャパニーズスマイルだけである。

▼さいわい第十二回世界仏教徒会議日本大会の開催を明年にひかえ、その記念事業として「仏教英語学生養成研修」が企画され、五月十二日からは毎週一回の研修会が開かれている。毎回三十数名が出席し、会場に入れないくらいの盛況は事務局としては喜しいことである。

▼この研修生が明年の大会では活躍してくれるであろうし、また将来、日本仏教を海外において広宣流布してくれることが望まれるわけである。まさに「二十一世紀における仏陀のメッセージ」の使者にふさわしく、たのしい学生諸君である。

写真は、WFB本部・入吉仏  
合同会議で挨拶するWFB会  
長のブーン殿下(二面参照)

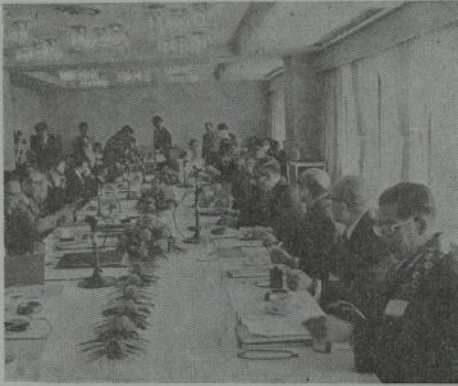
# 21世紀におくる仏陀のメッセージ

WFBB日本  
大会テーマ

## 会期・テーマなどを確認 WFBB執行委員会開かる

世界仏教会（会長・ブーン殿下、本部パンコック）の運営一般事項を審議する執行委員会は、第十二回世界仏教徒会議日本大会を明年にひかえ、その討議、打ち合せ等を含めて、五月二十一日午前九時より、東京新宿の京王プラザホテルで開催された。今回は特に世界仏教会（WFBB）と全日本仏教会（JBF）との合同会議がもたれ、第十二回WFBB日本大会の開催要項等について話し合われた。

WFBB本部・執行委員一行はブーン会長、クー・レオ・フーン副会長、テ・テン・チュウ執行委員、プラサート事務総長、コタニ事務次長、マリカ事務総長



写真は同時通訳使用の執行委員会

補佐が十九日午後十時に来日、またミヤハラ副会長が二十日に来日した。

【WFBB執行委員会】執行委員会は二十一日午前九時より、京王プラザ四十一階の四一三号室で開かれ、WFBB本部と執行委員、日本からは田辺哲彦理事長（執行委員）の代理として鱧淵正浩事務総長と鎌田国際部長が出席、松寿弘道師（午後は佐藤良純師）の通訳で始められたの検討事項について審議された。

一、ユネスコ・NOG

非政府団体（国連に加盟していないところ）の問題は、再三本部より手紙を出しているがユネスコより返事がないと報告された。しかし台湾については、同じ仏教徒として、一地域センターとして認めていくことが確認された。

一、表彰規定

WFBBに貢献のあった人に対する表彰の規定については、本部案を原則的に了解した。

解した。

一、ルンビニ計画

すでに丹下博士よりマスタープランが出されており、また仏誕の聖地でもあるので具体化したいが、資金の面もありすぐにはできない状態である。

一、第十二回大会

会期などを確認。テーマについては英文の字句を一部訂正した。また本部より大会にはサヤン前首相等の来賓を招待してほしいとの要望が出された。

一、加盟申請

インドから四センターの加盟申請が出されたが、あまりにもインドは細分化されているので見送りとなった。

一、マハ・ボディ・アショカ・ピハラ

一、マララセーケラ博士教育基金

一、会計報告

その他として、WFBBYの問題が討議されたが、現在Yの活動は停止状態であるので、五月末日にYの代表をまじえて本部でこの問題を話し合うことで了解し午後四時半終了した。

【WFBB本部・全日仏合同会議】

合同会議は四十三階「コメット」で開かれ、大谷光暢会長（WFBB副会長）とブーン殿下の挨拶のあと、麻布事務総局長より日本大会の概要が報告された。

つづいて同時通訳を使用して次の事項について討議された。

①大会テーマについて

「二十一世紀におくる仏陀のメッセージ」というテーマについては、英文の訳がかならずしも言葉通りでないが、大意は同じであるということであつた。

②仏教徒以外の大会出席の原則

過去の大会例もあり、オブザーバーとしては出席を認めることで合意した。

③その他

主権については、日本が責任をもって遂行し、WFBB本部が補佐するということで了承。共産主義国等の問題については、仏教徒として連絡をとり招請する。このリストは本部で調査し日本に送付することで了承。招待状については、まずブーン会長署名入りの開催案内状を本部より発送、次に日本より正式招待状を各センターに送るということで合意した。外貨事情の悪い国については、非常にむずかしい問題ではあるが、一ヶ国でも多く参加できるように日本側にて努力をこころみるということであつた。

合同会議の出席者は、WFBB側からブーン会長以下、プラサート、マリカ、ミヤハラ、T・T・チュウ、コタニ、K・L・フンの各氏、全日仏側は大谷光暢会長以下、鱧淵正浩、浅井堅教、桜井大乗、真溪義貴、若林隆光、麻布照海、安藤義祐、加藤海晃、竜山哲成、来馬規雄、鎌田良昭の各師、司会進行は松寿弘道師。

# 仏教英語研修会

30数名が応募で開く

第十二回世界仏教徒会議(WFB)日本大会の記念事業として企画された「仏教英語学生養成」は、仏教英語の研修を通して国際的視野をひろめ、海外との仏教文化交流の場で活躍する者を育成することを主眼としている。

その研修生を仏教系大学を中心に呼びかけたところ、三千数名が応募し、さくく五月七日午後六時より浜田ビル(東京浅草)において、花山勝友、佐伯真光、田村完誓の各記念事業委員を中心にオリエンテーションが開かれ、開設された意図、目的などの説明につづいて研修の学生と話し合い、今後のスケジュール等は次のように決まった。

【研修日】毎週一回とし、第一月曜日(花山・田村)、第二木曜日(佐伯)、第三月曜日(松寿)、第四木曜日(小笠原・田村)に六時より行う。

【夏期合宿】夏休み中に一週間程度の集中研修を実施する。場所未定。

第一回研修会は五月十二日、佐伯先生の担当で開かれ、ジャパンタイムスを使用して講義がはじめられた。

第二回は松寿先生が担当し、ご自身で出版された英文仏教入門を研修生全員に配布して講義をした。(第三回からは会場を東京新宿・常円寺に移して開催することとなった)。

仏  
可認物郵便第3全

## 初の接待委員会開く

第一回接待委員会(板橋宥成委員長)は、四月二十五日午前十時より、全仏会議室において開催され、大要次のような話し合いがなされた。

一、渉外・式典との連絡  
来日する外国代表団の詳細な日程(食事、変更、帰国、ホテルなど)を渉外と連絡をとり作成する。

一、入国・移動について  
羽田税関への出入り、関西等への移動バス会社との契約、都内見学などのスケジュールを作成する。

一、運営局会議について  
運営局の式典、会議の両委員会と合同で運営局会議を開く必要があるのではないか。それにより会場・時間等を把握してそれぞれの活動を行っていききたい。

## 広報も第一回委員会

第一回広報委員会(村野宣忠委員長)は五月九日午後一時より全仏会議室において開催され、次の議題にそって話しあわれた。

一、副委員長選任の件  
副委員長に佐藤良純師を選出した。

一、業務分担に関する件  
①広報紙について 国内向広報紙については自分の間「全仏」誌にWFB欄を設け、内容を充実させてこれに換える。国外向広報紙についてはニュースレリーズ的なものを随時発行し、各国WFB加盟センターに送付する。

◎ボスター等について 各宗派宗務総長に対し、各宗派宗報・新聞等に広報掲載方を宗務総長より申し入れてもらう。ボスター作製の時期については今後研究するが、大会PRの広報は新聞等で広告掲載する。

## 関西実行委員会合同会議

事務局から三部長出席

第十二回WFB日本大会の関西実行委員会合同会議が、五月十六日午前十時より京都・知恩院和順会館第一会議室において開催された。

会議は事務局から市橋、鎌田、滝の三部長が出席し、関西方面の出席二十六名の実行委員と①勧募について②京都における大会日程案と運営についての二点について話しあわれた。

①については関西方面の事項、特に勧募方法について説明、おおむね了解された。②については特に会場の問題がだされ、京都国際会館を利用してはどうかという意見が出され、事務局ならびに会議委員会で検討することとなった。その他京都における種々の問題点が出されるなど関西の実行委員の熱気が強く感じられる会議であった。

## 第三回総務委員会

第三回総務委員会(白川委員長)は五月十三日午後二時半より、東京・芝の曹洞宗々務庁会議室において、次の議題に

ついて討議された。

◎実行委員の追加推薦として埼玉県仏日蓮宗、全日仏青、東京BCよりの推薦各師を了承。

◎WFB執行委員会を五月二十一日に開くことを説明報告。

◎実行委員会規則については、多少の問題点もあるが原則的に一応了解、あと理事長と相談する。

◎組織委員会については、特に新宗教の問題にふれ、大局的にはそれらの人々も含んでやたらという意見があった。

◎その他に外貨事情の悪い国をどうするかという問題が出され、これらの国を招くことについては、今後研究をして来日できるよう努力をこころみること了解された。

## 【WFB大メモ】

### 大会開催地

- 第1回 コロンボ セイロン
- 第2回 東京・京都 日本
- 第3回 ラングーン ビルマ
- 第4回 カトマンズ ネパール
- 第5回 バンコック タイ
- 第6回 プノンペン カンボジア
- 第7回 サルナート インド
- 第8回 チェンマイ タイ
- 第9回 ベナン マレイシア
- 第10回 コロンボ スリランカ
- 第11回 バンコック タイ
- 第12回 東京・京都 日本

# 51年度 全日本仏教会の事業報告

## (1) 事業の状況

### 一、加盟仏教団体相互の連絡・提携および親睦

#### ○昭和51年

- 4・8 孝道山花まつり出席
- // 泉涌寺七五〇遠忌参列
- 4・12 常務理事会、全仏役員懇親会
- 4・17 信貴山管長就任祝電
- // 千葉県仏總會出席
- 4・23 静岡県仏戦災法要打電
- 4・27 監査会
- 4・28 鑽仰会公開討論会出席
- 5・1 理事会
- // 東京本願寺藤まつり出席
- 5・17 醍醐山開創千百年慶讃法要出席
- 5・19 臨濟宗相国寺派管長遷化弔電
- 6・3 浄土門主再任祝賀会出席
- 7・1 埼玉県仏理事会出席
- 7・9 仏教鑽仰会都民お盆まつり出席
- 7・21 宗務総長会
- // 常務理事会
- 8・3 念法真教立教開宗祭祝電
- 8・8 孝道山副統理大僧正就任披露出席
- 8・28 浄土宗前宗務総長本葬弔電

### 二、仏教化運動の総合的企画および

- 9・1 栗本常務理事本葬参列
- 9・9 東日本詠歌連盟大会出席
- 9・14 西山各派合同念仏のつどい祝電
- 9・16 理事会
- 10・5 大阪府仏大会祝電
- 10・21 仏教興隆協会ブダガヤ結集委員会出席
- 10・28 豊山派管長就任式出席
- 11・1 信貴山晋山式祝電
- 11・2 東仏理事会出席
- 11・11 仏婦大会出席
- 11・15 長谷寺晋山式出席
- 11・21 長野県仏大会出席
- 11・30 常務理事会
- 12・2 東京ブディストクラブ成道会出席
- 12・8 東仏成道会出席
- // 大阪府仏成道会打電
- 12・23 宗務総長会
- 昭和52年
- 1・22 全日仏青總會出席
- 1・23 孝道山副統理本葬参列
- 1・26 常務理事会・宗務総長会・理事会・評議員会
- 2 宗派紋章収集
- 3・9 戦災慰霊法要参列
- 3・26 仏教文化伝道賞贈呈式出席

## 促進

### ○昭和51年

- 4・27 文化会議運営委員会
- 5・26 文化会議打合会
- 8・18 青年の船打合会
- 8・25 日本仏教文化会議
- // 26
- 9・14 青年の船打合会
- 9・29 青年の船プロジェクト会議
- 10・6 //
- 10・13 青年の船実行委員会
- 10・30 //
- 昭和52年
- 3・23 文化専門委員会
- 「花まつりポスター」・「全一仏教聖典」の普及
- 三、諸官庁および関係諸団体との連絡
- 昭和51年
- 毎月一回、日本宗教連盟理事会・幹事会出席
- 随時 WCRP 幹事会出席
- 6・3 救ライ協会仏像奉安式出席
- 7・26 ABCP 大会出席
- // 28
- 9・1 震災慰霊法要供花
- 10・14 仏教タイムス座談会出席
- 10・25 仏教タイムス三十周年祝賀会出席
- 10・27 WCRP 事前研究会出席
- // 28
- 11・25 WCRP シンガポール大会出席

### ○昭和52年

- 1・26 自民党大会出席
- 3・23 文化庁事業報告会出席
- 四、各種仏教運動の実践および育成
- 昭和51年
- 毎月一回、「全仏」誌発行
- 4・14 全仏三重大会打合会
- // 幹事会
- 4・27 都道府県仏教会代表者会議
- 5・15 議
- 5・16 第24回全日本仏教徒会議
- // 17
- 7・5 三重大会
- 7・17 組織専門委員会
- 8・30 国際専門委員会
- 10・18 近畿ブロック会議
- 10・2 四国ブロック会議
- 12・2 関東甲信越ブロック会議
- 12・7 ブダガヤ結集(第2回)協賛
- // 9
- 12・9 組織専門委員会
- 昭和52年
- 2・24 全仏埼玉大会準備委員会
- 3・12 //
- 五、各国のWFBセンターおよび各国仏教団体との連絡
- 昭和51年
- 5・13 パングラデシユ孤児院落慶式出席
- 11・16 ダルマラーシカ記念柱(ダッカ)落成式出席
- 12・10 WFB パングラデシユ代表来日
- 12・13 WFB 韓国代表来日
- 随時英文全仏ニュースの発行



# 参院選 全仏の推薦候補

## 新たに四氏がきまる

七月の参議院議員選挙に、全日本仏教会では立候補予定者に推薦状を交付、支援する。①推薦団体 ②略歴 ③現職

### 一地区一

(東京都)

原 文兵衛 64歳 自民・現

①東京都仏②東大卒 長野・神奈川 県警本部長 警視 總監 参院地方行 政委員長③参議院 議員



(岐阜県)

浅野 ひろむ 50歳 自民・新

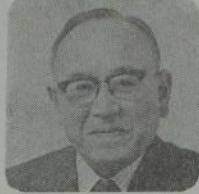
①岐阜県仏②早稲 田大卒 三野工業 社長 四期連続県 会議員 ③自民党 県連政調会長 岐 卓県議会議長



一全国一

西村 尚治 66歳 自民・現

①日蓮宗②東大卒 郵政事務次官 全 国特定郵便局長会 顧問 内閣常任委 員長 国務大臣総 理府総務長官



増岡 康治 52歳 自民・新

①福岡県仏教会② 東大土木科卒 内 務省建設関係各機 関歴任③建設省河 川局長

### 日韓仏教交流協議会

今秋、ソウルで合同発会式

日韓両国の仏教による親善交流をより一層深める目的で、昨秋に大韓仏教総連合会の李南采師を団長とする韓国仏教代表団が来日し、全日仏関係者とも接触し懇談してきたが、ようやく日本側の機熟し、五月十日午後二時より真言宗豊山派宗務所講堂(東京都文京区)で開かれた日韓仏教交流協議会設立準備委員会で、正式に発足することが決まった。

当日は設立準備委員の村野宣忠師を議長に選出して議事に入り、次の事項が決定した。

- ①会則についてはほぼ原案通り承認。
  - ②役員は次の各師が選出された。
- 会長・麻布照海、副会長・鱒淵正浩  
浜野堅照、池田盤輝、理事長・田中香

甫、常務理事十四名、理事二十六名、事務局長・伊東堅純、次長・大橋邦正  
なお事務局は事務局長宅に設置する。  
③個人年間会費は一万円とする。  
すでに韓国側の協議会は、四月二十八日ソウルで発足している。日韓合同発会式については、事務局長が六月に渡韓し打ち合わせるが、十月下旬にソウルで開催される予定である。

### 国際専門委員会開く

委員長に柳了堅師を選出

国際専門委員会は、四月二十二日午後二時半より全仏会議室で開かれ、左記の議案について熱心に審議された。

#### 一、委員長の選任について

岡野貴美子委員長選化にともない、後任委員長の選出が審議され、各委員互選により柳了堅委員が万場一致で委員長に選出された。なお副委員長の麻布照海、新美孝道両師は留任となった。

#### 一、訪日団について

中国仏教会(台湾)代表団の来日はビザの関係で、六月に延期されたことが報告了承された。

スリランカ仏蘭寺管長チャンダナンタ大長老一行来日は、五月二十八日に来日するが、丹羽廉芳、麻布照海両師を代表とする歓迎委員会を組織し、滞在一週間程度の面倒を見ること了承。

(出席者) 新美孝道、村野宣忠、柳了堅、古宇田亮文、西村輝成、織内七郎

## 寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (841) 4965

### 社会を明るくする運動

日宗連より協力依頼

毎年行なわれる「社会を明るくする運動」は第二十七回目をむかえる。これについて、日本宗教連盟(全日本仏教会など五団体)では事業計画の一環として協力をしているが、先般「第二十七回社会を明るくする運動」の実施要綱が、中央実施委員会より送付され協力依頼があった。全日仏加盟の各宗派・県仏・団体にわかれましたも、この運動が広く社会に浸透しますようご協力をお願い申し上げます。

なおこの運動の主唱は法務省で、七月の中の一ヶ月の期間となっている。

# 全仏理事會ひらく

## 51年度決算など承認

全日本仏教会の理事會は、五月二十四

日午後一時より、東京本願寺大谷ホール

一階で開催され、田辺理事長挨拶のあと

議事録署名委員に藤岡義昭師と野村宗春

師を選出し、次の議案について審議され

た。

議案第一号「人事移動について」

理事 熊野竜夫 退任 千葉県仏

理 〃 土持良栄 新任 〃

評議員 土持良栄 退任 頭本法華宗

### 長野県仏教会

県仏教会は戦後いち早くその結成を

みたもので、昭和二十一年には十七都

市の各々の仏教会を単

位として相互の連結協

定をはかりつゝ「まず

「全一仏教」運動に協力すべく、全会

員が努力している。

県仏の事業達成のために、まず(一)

寺院共済組合の結成、(二)寺院名鑑の

作製、(三)檀信徒総代会の結成を企て

真俗にわたる基盤の確立をはかり着々

その目的を達しつつある。

一、一寺一願運動

## まず実践・一寺一願運動

つねに「全一仏教」に協力

## 県 仏 紹 介

実践」をスローガンと

して、各種の事業を行

い今日に至っている。

昭和二十七年には、第二回世界仏教

徒會議長野県大会を長野市善光寺の開

き、また昭和四十年八月十八、九の二

日間第十三回全日本仏教徒會議長野大

会を長野市民会館で開くなど、つねに

実に協力している。

(イ)「里親」の実施、十力寺院に一名

の割合いで、里子を預かることにし家

庭的愛情に飢える子供に、温かいみ仏

の手をさしのべることに専念、大きな

成果をあげた(昭和二十四年)

(ロ)戦災孤児をあづかり本堂を開放す

るなど、思い切った社会福祉事業の充

実に協力している。

〃 吉永正晴 新任 〃

常務理事 神田寛雄 退任 本願寺派

〃 豊原大潤 新任 〃

事務総長 白幡憲祐 退任 関西事務局

〃 藤田説量 新任 〃

以上の人事移動が承認された。

議案第二号「昭和五十一年度事業報告

について」

議案第三号「昭和五十一年度歳入歳出

決算について」

二号、三号議案は承認。

報告事項「参院選推薦候補について」

「WFB執行委員会経過」・「日本大会

運営規程案」について報告された。

(出席者)

田辺哲康、宮部幸磨(代)、藤岡義昭

熊野竜夫(代)、阿部竜正(代)、野村

宗春、山本スギ、沼田恵範(代)、別所

弘因(代)、広川芳雄(代)、豊原大潤

中友好に尽力してきた。

(ロ)「ベトナムを救おう」県仏教育年

連盟などが中心とするベトナム救援県

仏教連絡協議会を作り(昭和四十年)

ベトナム戦災孤児の救援活動をおこし

医薬品など金品を持参、代表者が現地

を訪れ慰問した。

四、その他

(イ)寺院会員名簿を発行し、相互の連

絡を密にしている。県仏会報を年一回

発行している。

(ロ)県仏青(昭和二十八年)県仏婦人

会(昭和三十年)を結成し、それぞれ

に目的達成に精進している。

(ハ)「黒い法要」の絶滅には県仏が全

面的にこれを推進している。(昭和五

十一年十一月二十一日第二十二回県仏

教徒大会において決議す。)

事務局 長野市茂菅 静松寺

【会長】都筑玄妙

【副会長】倉科良俊、村木祐

英、半田孝淳【事務局長】丸山宗隆

昭和52年5月1日

WFB執行委員会  
歓迎夕食会ひらく

WFB執行委員会のため来日したプー  
ン会長等の歓迎夕食会が、二十日、二十  
一日の両日に開かれた。

二十日の歓迎夕食会は、芝の「留園」  
において開かれ、実行委員を中心に五十  
名が出席し盛大であった。五卓のテーブ  
ルにはそれぞれに来日の委員が座り、日  
本の実行委員の方々と懇談がもたれて  
いた。

二十一日の夕食会は赤坂の「無量庵」  
で開かれ、在京の全日仏理事を中心に三  
十名が出席、プーン会長の挨拶のあと宴  
に入り、全日仏より記念品贈呈や、仏教  
伝道協会の沼田恵範師より仏書がそれぞ  
れに贈呈されるなど盛会であった。

◇ 掲 ◇ 示 ◇ 板 ◇

臨済宗妙心寺派人事

▼妙心寺派では江西寛堂宗務総長の任期  
満了に伴い、新たに後藤純一師が後任宗  
務総長に選任された。内局は次の通り。

宗務総長・後藤純一、総務部長・高橋  
勇吾、教学部長・裁松元道、財務部長・  
土屋孝喜、花園会本部長・千坂精道、参  
拝部長・今山弘毅、法務部長・釈義雄

関東甲信越静フロック会議

▼関東甲信越静フロック会議は、長野県  
仏教会の担当で、六月二十日午後一時よ  
り善光寺において開催される。本堂にお  
いて法要のあと、午後二時より忠霊殿に

て会議をおこない、夕方より戸倉温泉に  
て懇親会を開く。関係各都県仏にはご参  
加下さるようご用意下さい。

京都府仏人事

▼京都府仏教会では野々山龍全会長が退  
任され、新しく伴義台師が会長に就任  
された。

WFB事務局録事(5月)

七日 仏教英語研修会  
九日 広報委員会  
局内会議

十二日 仏教英語研修会  
十三日 総務委員会

十六日 十大宗派宗務総長会  
関西実行委員と打ち合せ

十八日 局内会議  
仏教英語研修会

十九日 WFB執行委員来日  
二十日 WFB執行委員歓迎夕食会

二十一日 WFB執行委員会  
WFB「全日仏合同会議」

二十五日 勸募第一、第二合同委員会  
二十六日 仏教英語研修会

事務局録事(5月)

九日 局内会議  
監査会

十六日 長田師追悼会出席  
十八日 全青協記念式典出席

二十四日 局内会議  
理事会

千代田トラベルがおくる夏の海外旅行

ボロブドールとバリ島・シンガポールの旅  
世界最大の仏教遺蹟インドネシアのボロブドール見学と南  
海の楽園バリ島の休日

7月26日～8月1日 7日間  
参加費用 298,000円

インド・ガンダーラ・アフガニスタン美術研究の旅  
日印協会主催・女子美術大学教授永井信一先生同行指導  
アジヤンタ・エローラ、カシミール、ベシヤワール、カイ  
バル峠、カーブル、パーミヤンなど

8月8日～8月23日 16日間  
参加費用 485,000円

ガンダーラ・アフガニスタンの旅 第11回・第12回  
タキシラ、ベシヤワール、カイバル峠、ハッダ、カーブル  
パーミヤン、プリホムリ、マザリシャリフ、ラホール

8月15日～8月27日 13日間  
8月29日～9月10日  
参加費用 465,000円

スリランカ・タイ特別訪問団  
WFB日本大会記念シリーズ(仏教タイムス社共催)スリ  
ランカの仏跡とバンコック訪問

8月23日～9月2日 11日間  
参加費用 298,000円

この旅行はキヤンディの仏歯寺のお祭りとして世界的に有名ベラヘラ期間に当たります。ベラヘラの日  
程が決まるのは5月の満月を過ぎてからのため、ベラヘラを予め日程に組み入れた旅行は皆無です。こ  
のたびは幸運にもキヤンディ滞在中が10日間続くベラヘラの最高潮に達するときです。日本テレビ(N  
T V)カメラマンが3人同行します。この好機をお逃しなく。

千代田トラベル制作の小冊子「仏跡参拝」  
をご希望の方に贈呈しております。はがきで  
お申込下さい

第12回世界仏教徒会議日本大会協賛広告

取扱旅行会社  
運輸大臣登録一般第154号  
株式会社 千代田トラベル  
東京都港区南青山5丁目6番20号(千成ビル)  
電話 407-3612(代表)  
400-5100  
郵便番号 107